

# 関西学院大学に対する相互評価結果ならびに認証評価結果

## 文学部

### 【評価項目】6 教育内容・方法 6.1 カリキュラムの編成

#### 総 評

#### 三 長所の伸張と問題点の改善に向けての取り組み

##### 2 教育内容・方法 (1) 教育課程等

文学部は、2003(平成15)年度に、従来の9学科制から3学科制(文化歴史学科、総合心理科学科、文学言語学科)に移行した。広範で多様な学問領域への導入のためのカリキュラム改編の努力において、見るべきものがあるが、その改編はいまだ進行中である。

授業科目を内容と段階によって区分したうえで、各学科・専修ごとに履修のための課程表が作成されており、制度面での教育課程は整備されている。科目選択の多様性と自由度を高めるためのカリキュラム上の工夫もなされている。しかし、実際は時間割編成上の制約や、特定の授業への履修者の集中などで、多くの問題点も出ているようである。文化歴史学科と総合心理科学科は自由科目単位数が比較的多く設定されているので、より細やかな履修モデルの設定や、ガイダンスなども活用した対応の検討を促進されたい。

また、教養重視が謳われているが、「共通科目」だけでそれが担保されるかどうかやや疑問がある。ただし、そのうちの「総合科目」は、文学部の目的や教育目標に合致する特色ある科目と言えよう。

なお、高・大の接続の取り組みとしては、特に、高等部生徒のみならず近隣高等学校の生徒も受け入れる先進的試みは評価できる。